



鳥羽市は「自ら学び心豊かにたくましく生きようとする人間の育成」を目標としています。

とばし教育委員会 だより

2019.4.1 第16号



北京・ロンドン五輪銀メダリスト
日本フェンシング協会会長
太田 雄貴さん



迫力満点！みんなで盛り上げよう！国体・フェンシング競技

北京・ロンドン五輪銀メダリストの太田雄貴さんをゲストに迎えて3月9日、「みんなで教えてもらおう！太田雄貴さんに聞くフェンシングの魅力」が開催されました。太田さんは会場に集まった市民約200人にフェンシングの魅力や歴史、ルールについて、大学生選手の試技とともに分かりやすく解説してくれました。エキシビジョンマッチでは、剣さばきのスピードや剣がぶつかり合う金属音の迫力に、訪れた市民から驚きの声が上がっていました。

平成31年度の教育予算の概要をお知らせします

新年度を迎え、教育委員会事務局の各課の業務内容と共に、平成31年度の主な事業や取り組みについてご紹介します。

平成31年度 一般会計予算 総額11,387,000千円
うち **教育予算 総額 753,600千円**

総務課

業務概要 教育委員会の開催や事務局内の人事など事務局の総務に関する事務や市内教育機関の施設整備や管理を担当しています。

主な事業

教育委員会運営管理事業 2,677千円

教育委員会を開催し、教育行政における重要事項や基本方針を決定します。また、「教育委員会だより」を発行し、本市の教育に関する取り組みを広く市民に周知します。

学校施設等の改修・修繕など 15,500千円

「安全・安心・快適」をテーマに市内の小中学校、幼稚園の施設、設備の改修や修繕を行い、より安全で快適な学習環境の維持に努めていきます。

学校備品の購入など 5,281千円

児童生徒等の学習環境の充実を目指し、学校備品を購入します。また、小中学校における教職員の業務の効率化を図るため、校務用パソコンを購入します。

スクールバス等の運行委託 14,680千円

鳥羽東中学校、鳥羽小学校、弘道小学校、かもめ幼稚園において、遠距離通学を行う児童・生徒が安全・安心して通学できるようスクールバス等を運行します。

学校教育課

業務概要 市立小学校、中学校、幼稚園の教育、就学や学校給食、教職員の人事管理など学校運営に関する事務を担当しています。

主な事業

英語検定チャレンジ事業 718千円

鳥羽の将来を担うこどもたちの国際的なコミュニケーション力を育成するため、英語検定受検を通して英語に慣れ親しみ、意欲・関心を高めます。小学6年生、中学1～2年生が全額公費負担で受検できます。

学校給食運営事業 84,957千円

学校給食の円滑な実施が図れるよう、施設設備の改修を行うとともに、鳥羽でとれる新鮮な食材を活用し、食を通して郷土愛を育む「鳥羽が好きふるさと給食」を実施します。

学校図書整備事業 4,436千円

小中学校の図書館に司書資格を有する方を派遣し、図書館の環境整備を行うとともに、学校図書館を活用した授業を推進し、読書活動の充実を図ります。

高校生修学支援事業 6,986千円

教育における経済的負担の軽減や子育て支援等を目的に、高校生の通学費等を補助します。また、鳥羽高校支援の取組として、同高に通学する生徒の補助率を引き上げます。

生涯学習課

業務概要 学校教育を除く教育全般および芸術文化の振興、文化財に関する事務や、体育施設の管理及び運営などスポーツ振興に関する事務を担当しています。

主な事業

人材育成講座「地球塾」事業 954千円

平成30年度から小学4～6年生に配布した鳥羽歴史学習本「とばっこ探偵団」を活用し、出前講座やとばっこ検定など鳥羽ならではの郷土学習を行い、郷土愛の醸成を目指します。

図書館運営事業 37,741千円

第2次鳥羽市子ども読書活動推進計画に基づき、読書に親しむ機会づくりを提供するとともに、図書館の環境整備充実により、利用者サービスの向上に努めます。

文化財調査事業 3,830千円

三重大学の海女研究センターに海女漁村の景観分析調査を委託し、海女が暮らす漁村の特徴を学術的に調査することで海女や海女漁村の文化のPRにつなげます。

国民体育大会準備事業 4,571千円

三重とこわか国体鳥羽市実行委員会において、本市で開催するフェンシング競技の普及事業や、競技会場の配置計画等の作成に向けた準備を行い、鳥羽ならではの大会を目指します。

※主な予算を抜粋して掲示しています。詳細は市HPをご覧ください。 <https://www.city.toba.mie.jp/zaimu/yosan.html>



なかむら かずひさ
中村 和久さん

平成30年12月に教育委員に就任。答志町在住。家業の傍ら、県外の中学生を対象に、寝屋子制度など答志島の風習、風土を活かした「体験学習」の受け入れに尽力。現在はスポーツをテーマとしたフリーペーパーの発行なども行う。答志中学校ソフトボール部外部指導員。

「教育Ⅱ共育」

一般的に教育の定義とは、「教育で育てることであり、人間を望ましい状態にさせるために、心と体の両面に意図的に働きかけることである。教育を受ける人の知識を増やしたり、技能を身につけさせたり、人間性を養ったりしつつ、その人が持つ能力を引き出すこととするのである」とされています。

現在、子どもたちは学校だけでなく、様々な専門分野で教育を受けることができます。幼少期から習い事を始めるケースも多く、そのきっかけは親の勧めというのが大半だと思えます。親は子どもの将来を考え、立派に育つことを願い、教育に熱心になります。しかし、子ども自身はどう思っているのでしょうか。子どもが自発的に選んだステージで目標を持って取り組み、自立心が育ち、自分の将来像を描き、そこで悔しさや嬉しさを感じ、人の事を考え、向上心を

もって取り組む。この理想的なケースなら子どもは大きな伸びしろを見せ、学んだことを自分の財産とし、立派に成長すると思います。しかし、「親がうるさいからやる」「親が喜ぶからやる」、これでは自立心は育たないと思います。

私たち大人は、ステージを勧め、与えるだけでなく、子ども目線を持ち合わせ、子どもの心境に敏感であり、そのプロセスをサポートする必要があると思えます。

親には確かな熱意と愛があり、指導者には確かな教育の技術があります。地域の人たちには見守る優しさがあります。それぞれの立場、役割を持ち、みんなで子どもたちを育てる「共育」が、子どもにとって良い環境を作り出すと考えています。

「子どもたちが笑顔で、将来素敵なお父さん、お母さんになってほしい」と願っています。

第12回美し国三重市町対抗駅伝

選手・スタッフ一丸となって完走

〜ご声援ありがとうございました〜

県庁前から三重交通Gスポーツの杜伊勢（県営総合競技場）までの10区間42.195kmをコースに、市町対抗で行われる「第12回美し国三重市町対抗駅伝」が2月17日に開催されました。

本市代表チームも沿道の声援を受けながらタスキをつなぎ、2時間34分59秒のタイムでゴールしました。目標としていた2時間30分の壁を超えることはできませんでしたが、限られた時間の中で選手・スタッフが一丸となって練習に取り組んだ結果が完走につながりました。



選手・スタッフのみなさん、お疲れさまでした

第12回大会 鳥羽市選手及びスタッフ

監督	山下 幸也(安楽島小学校)	
コーチ	松本 聖(安楽島小学校)	
スタッフ	松本 明彦 (市陸上競技協会)	田中 次尚 (市陸上競技協会)
	中山 祐樹 (有限会社中山建築)	岩橋 育美 (市スポーツ推進委員協議会)
	亀川 裕矢 (長岡中学校)	
1区 小学生女子 (1.28km)	藤原 梨瑚 (神島小学校)	小久保 伊織 (神島小学校)
2区 小学生男子 (1.85km)	小久保 圭皓 (安楽島小学校)	山本 遥久 (安楽島小学校)
3区 中学生女子 (3.83km)	藤原 亜瑚 (神島中学校)	
4区 中学生男子 (5.58km)	小久保 凱生 (皇學館中学校)	
5区 40歳以上 (4.60km)	中村 正仁 (株式会社ヤマモリ)	松川 亮 (鳥羽市役所)
6区 ジュニア男子 (6.36km)	小久保 圭悟 (宇治山田高校)	
7区 一般女子 (2.89km)	右江 里菜 (鳥羽東中学校)	濱口 香絵 (伊勢赤十字病院)
8区 20歳以上女子 (3.43km)	田中 葵 (鳥羽市役所)	齋藤 萌 (紀北町立西小学校)
9区 ジュニア女子 (5.45km)	岩瀬 映伊美 (皇學館大学)	野嶋 瑞葉 (皇學館高校)
10区 20歳以上男子 (6.925km)	尾寄 広樹 (鳥羽市役所)	松本 聖 (安楽島小学校)

